

「数学科」 授業のデザイン

| | | | |
|----------------------|---|------|-------------------|
| 授業日時 | 平成 27 年 10 月 28 日 (水) | 3 校時 | 3 年 1 組 |
| | | 5 校時 | 3 年 2 組 |
| 授業者 | 西田 雄一 阿部 泰治 | 授業場所 | 3-1 教室 数学少人数教室 |
| 単元・題材名 | 5 章 相似と比 1 節 相似な図形 5 相似な三角形と相似条件 | | |
| 導入 | <p><例 1>の問題を解き，相似な三角形を見つけるためにはどのような条件が必要であったかを確認する。</p> | | |
| 課題 1 (基礎の課題) | <p><例 2>の問題を解き，図形の中に隠れている相似な三角形を見つけ，相似であることを説明する。</p> | | |
| 課題 2 (ジャンプの課題) | <p>練習問題①～⑤を解き，相似な三角形について詳しく学習する。</p> | | |
| まとめ | <p>・相似な図形は，対応する辺の比がどれも等しく，対応する角の大きさがそれぞれ等しいことを改めて確認する。</p> <p>・一部の情報から，ほかの情報を論理的に求めることができることを確認する。</p> <p>・このあとの相似の証明を学ぶための基礎である認識を持たせる。</p> | | |
| ☆「学び合い」をどこでどう生かしていくか | <p>相似条件を知っていても，実際の問題においてどのように使われるかを学び合うことで力をつけてほしい。特に，練習問題②，③においては，相似な関係になっている 2 つの図形が見つけられても，それを説明するためにはどのようなことが必要なのかを詳しく考えさせたい。また，図形の持つ性質についての確認にも意見の交流を活発に行わせたい。</p> | | |